

会員の皆様へ

森田前会長から会長職を、そして東京大学から事務局を引き継ぎ早くも2カ月余が経過しました。この間、副会長の大門さんや評議員の皆様のお力を借りつつ、事務局長の矢野さんを中心に体制を整える準備をして参りました。森田さん、阿部さんのお二人でよくここまで会の発展を支えてこられたものだというのが率直な感想です。本当にご苦労様でした。

1. 「根の研究」編集方針、投稿規定

新体制になったので「根の研究」の装いも変えてみました。いかがでしょうか。これに伴い原稿作成要領も若干変更しましたので、該当ページをご覧ください。ご投稿の際にはご参照下さい。なお表紙のデザインは、名古屋大学農学部作物科学講座大学院生の近藤貴士さんをお願いしたものです。

「根の研究」の最大の特徴は、会員の皆様が積極的に参加して作り上げていく会誌であることです。この特徴をさらに鮮明に出すために、会のあり方・運営や研究上の問題提起等の、会員の生の声を掲載するオピニオン欄を作りたいと思います。以前も行ったことがあります。メーリングリストとともに会誌上でも活発な討論をしましょう。また書籍・論文等の文献紹介や気軽に書ける旅行記等も歓迎したいと思います。研究室紹介では、とくに現場に近い研究所で、根に関して問題になっていることを提起していただくことも考えています。さらにはカレンダーや人事情報等、会員にとって有用だと判断されるものはどんどん掲載していきます。ぜひ積極的なご投稿や情報提供を事務局までお願いします。

2. 研究集会

今回の研究集会は少し趣向を変え、泊まり込みで参加者間の親密で実質的な議論の機会を十分に確保し、懇親を深める企画を考えました。昼間は土の下を見つめ、夜は天文台にて空を見上げる。懇親会は野外でバーベキュー。懇親会が終わっても寝かせません。交通がやや不便なためご迷惑をおかけしますが、積極的な参加をお願いします。ご家族揃っての参加も歓迎します。晴れることを祈っています。詳細は該当ページをご覧ください。

なお次回以降の研究集会開催地の立候補を歓迎いたします。またシンポジウムの企画も募集しています。

3. 研究会賞

研究会賞につきましては、これまでの2回の選考によって各賞の性格が明確になってきたと思います。推薦の締め切りは7月末日を予定しておりますので、ご準備の程よろしくお願い申し上げます。次号にて推薦受付の公示を出します。

4. 根の事典

森田さん、阿部さんが中心となって進めてこられました「根の事典」の編集作業が最終段階に入り、確定原稿が出版社（朝倉書店）の方へ出稿されました。その報告と、確定目次を森田さんに書いていただきました。該当ページをご覧ください。

5. 会員データベースの更新

異動あるいは就職等で会員の皆様の情報が古くなっていることが考えられます。また郵便番号も新しくなっています。そこでデータベースを更新するために、同封の様式に従って事務局まで最新の情報を提供して下さいますようお願いいたします。

1998年3月 会長 山内 章